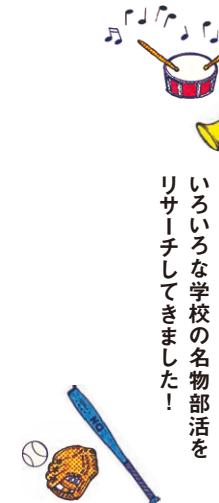




あの部活に入りたい！ 気になる 部活調査隊

「中学校には
どんな部活があるんだろう？」
そんな疑問に答えるため、
いろいろな学校の名物部活を
リサーチしてきました！



城北中学校・高等学校

鉄道研究部

設立 1966年に同好会として設立
部員数 69名
活動日 週3~4日
活動実績 機関誌の発行、鉄道模型コンテストへの参
加、文化祭での大規模展示など。



2方向のアプローチで 鉄道の魅力を伝える

鉄道研究部では、模型と機関誌
制作が主な活動です。模型班では、
「実在する駅舎や景色を忠実に再
現している」と部長の上田照くん
は言います。

「建物は材料を買って手づくりし
ます。地面の砂などは市販品を利
用することも。制作には1テーマ
につき3~4か月ほどかかります」
模型づくりの難しさについて聞
いてみました。

「実際の線路に合わせてレールを
カーブさせるのですが、電車の車
輪が引っかかって前進できなくな
ることがあります。模型の電車は、
レールに電気を通す実際の電車に
近い形で動かす製品を使っていま
す。何かの拍子に電車が止まる、
その原因究明が大変ですね」(上
田くん)



鉄道好きのための活動が満載

「埼玉県北部を通る秩父鉄道の路
線の一部を模したものだったので
すが、長瀬駅の辺りから三峰口駅
の駅舎の再現性などはなかなかの
もので、よくがんばったと思いま
す。文化祭のほかには、東京ビッ
グサイトで行われる日本有数規模
のコンテストである国際鉄道模型
コンテストで、駅舎の課題など、大人の
目線も入った記事になつていま
す。編集班で企画会議を行い、ど
の記事を誰が担当するか調整して
制作しています」(上田くん)



模型や文集の制作など

「もう一つの活動の大きな柱が編
集班による機関誌の編集で、50年
の歴史を誇ります。内容も単に鉄
道そのものだけでなく、町づくり
や行政、駅舎の課題など、大人の
目線も入った記事になつていま
す。編集班で企画会議を行い、ど
の記事を誰が担当するか調整して
制作しています」(上田くん)



自慢

先輩たちから受け継がれ
てきた50年の歴史を誇る
機関誌は、他校の鉄道研
究部には見られないもの。
実際に足を運んで撮影し
た写真や、個人研究など
多彩な内容。

必須アイテム

模型づくりにカッターナ
イフと定規は必須。ナイ
フで傷つかないように、
金属製の定規を使用。模
型制作に必要な技術は中
1の頃から上級生より伝
授される。

目標

全国高等学校鉄道模型コン
テストで賞を取ること。
2015年に理事長特別賞(3
位に該当)をもらったのが
これまでの最高の結果な
ので、後輩たちにはそれ
を超えてほしい。

メッセージ

好きなことがあるのはいい
ことです。胸を張って鉄道
にのめり込んでほしいと思
います。



顧問

伊藤和晃先生
山本毅先生

部員



部員で行程を決
めて鉄道旅行に
行くなど、自由
度が高い活動が
魅力です。

秋山雄くん(編集長・高2)
富川晃宗くん(機関誌・高2)
榎原豪くん(副部長・高2)
上田照くん(部長・高2)